



2022年10月31日

各 位

会社名 株式会社 S Y S ホールディングス  
代表者名 代表取締役 鈴木裕紀  
会長兼社長  
(コード番号：3988 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務執行役員 後藤大祐  
管理本部長  
(TEL 052-937-0209)

### 上場維持基準への適合に向けた計画

当社は、2022年7月31日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年7月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、流通株式時価総額に関しては2023年7月末までに上場維持基準に適合するために、次の通り各種取組を進めてまいります。

|                  | 株主数    | 流通株式数    | 流通株式時価総額       | 流通株式比率 |
|------------------|--------|----------|----------------|--------|
| 当社の状況<br>(基準日時点) | 1,222人 | 16,313単位 | 972,870,662円   | 31.3%  |
| 上場維持基準           | 400人   | 2,000単位  | 1,000,000,000円 | 25%    |
| 計画期間             | —      | —        | 2023年7月末       | —      |

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったもので、流通株式時価総額は、事業年度の末日の流通株式数に、事業年度の末日以前3か月間の日々の終値の平均値を乗じて算出しております。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針

当社は2022年9月15日に公表した中期経営計画「SYSTarget2025」(2023年7月期～2025年7月期)に基づく個別戦略を確実に推進することで、企業価値の向上を図ってまいります。

(2023年7月期～2025年7月期 計数目標)

|                     | 2023年7月期 | 2024年7月期 | 2025年7月期  |
|---------------------|----------|----------|-----------|
| 連結売上高               | 8,500百万円 | 9,600百万円 | 11,000百万円 |
| 営業利益                | 510百万円   | 580百万円   | 700百万円    |
| 経常利益                | 510百万円   | 582百万円   | 702百万円    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 330百万円   | 377百万円   | 456百万円    |
| ROE (自己資本利益率)       | 12.3%    | 12.6%    | 13.5%     |

参考：中期経営計画策定に関するお知らせ（2022年9月15日公表）

[https://contents.xj-](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/60178b5d/3b12/4d7b/bf5d/b5e87bf1581c/20220915180945671s.pdf)

[storage.jp/xcontents/AS04159/60178b5d/3b12/4d7b/bf5d/b5e87bf1581c/20220915180945671s.pdf](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/60178b5d/3b12/4d7b/bf5d/b5e87bf1581c/20220915180945671s.pdf)

### 3. 上場維持基準に適合していない項目の課題と取組内容

#### (1) 課題

当社は「株主数」、「流通株式数」、及び「流通株式比率」については上場維持基準を充足しておりますが、「流通株式時価総額」が基準に達しておらず、株価の低迷が主たる要因であると考えております。従いまして当社では、企業価値の向上により株価の向上と安定を図っていくことが最重要の課題であると認識しております。

#### (2) 取組内容

当社では、企業価値の向上により株価の向上と安定を図っていくために以下の取組を行ってまいります。

##### ① 基幹システムの総合サポート

米IT大手領域以外の、大企業基幹システムの煩雑な部分まで総合サポートすることで、国内企業の需要に応え、業界の一次請けとして高付加価値を追求します。

当計画期間における、各ソリューション別の計画は以下の通りです。

(単位：百万円、%)

| 決算期                  | 2023年7月期<br>(予想) |        |      | 2022年7月期<br>(実績) |       |
|----------------------|------------------|--------|------|------------------|-------|
|                      | 対売上高比率           | 対前期増減率 |      | 対売上高比率           |       |
| ソリューション              |                  |        |      |                  |       |
| グローバル製造業<br>ソリューション  | 3,042            | 35.8   | 7.6  | 2,828            | 37.3  |
| 社会情報インフラ・<br>ソリューション | 5,243            | 61.7   | 15.3 | 4,548            | 60.0  |
| モバイル・<br>ソリューション     | 214              | 2.5    | 7.7  | 198              | 2.6   |
| 売上高合計                | 8,500            | 100.0  | 12.2 | 7,576            | 100.0 |

##### ② 独自の採用試験×独自の教育システム

ダイバーシティを重視し多様な人材の多様な働き方を支援することを基本とし女性管理職・経営者の積極登用、障害者雇用の推進、外国人採用の推進に取り組むとともに従業員の待遇改善を行うことで定着率の向上に努めることで、深刻なIT人材不足への対応を進めてまいります。

##### ③ 付加価値のあるM&A

各社の歴史と文化を尊重し、全役職員を大切にすることで、価格以外の付加価値を提供してまいります。

当計画期間におきましては、2022年10月31日現在既に公表しておりますとおり、計4社のM&Aが成約しており、ますますの事業拡大・成長を目指してまいります。

参考：株式会社ネットパーク21の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

(2022年10月20日公表)

[https://contents.xj-](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/f14fac28/9715/497c/b855/d63b5c167fb8/1401202210205468)

[storage.jp/xcontents/AS04159/f14fac28/9715/497c/b855/d63b5c167fb8/140120221020546819.pdf](https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/f14fac28/9715/497c/b855/d63b5c167fb8/140120221020546819.pdf)

つくばソフトウェアエンジニアリング株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ  
(2022年10月21日公表)

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/18f18da7/6241/4388/9bf3/35eb9633ea65/140120221021546778.pdf>

株式会社アシックの株式取得（子会社化）に関するお知らせ  
(2022年10月25日公表)

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/8cc9994c/6fab/4dd2/8564/5b5b1d100f3b/140120221025548607.pdf>

株式会社アイガの株式取得（子会社化）に関するお知らせ  
(2022年10月26日公表)

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS04159/d1b5be22/2546/4dc1/bf7d/a3703209009b/140120221026549463.pdf>

#### ④ I R活動の強化

当社は、上述の取組の実施状況について引き続き適時適切にI R活動を行っていくことも株価向上のための重要な要因であると再認識し、適時開示基準に該当していなくても投資判断上有用な情報である場合は積極的に開示する等、中期経営計画の進捗状況やM&A等の事業活動に関する情報開示の強化を図ってまいります。

これらの施策の実施により、2023年7月期連結売上高85億円、連結営業利益5億10百万円、売上高営業利益率6.0%を達成し、流通株式時価総額基準への適合を図ってまいります。

以 上